

事務事業名	学校管理運営費(小学校)										担当課	部課名	教育部学校施設課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	02	目	01	細目	002	説明	10	課等の長	鳥生 学	電話	5121

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市立小学校35校の適正な管理運営を図るため、各種経費を支出する。						
対象	4. その他	市立小学校					35 校
根拠法令等	法律等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条					
事業実施内容	1 消耗品購入 2 壁面緑化整備修繕 3 施設管理にかかる手数料 4 モップ賃借料 5 維持補修用原材料						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳										
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主要内容								
	19,952 千円	需用費	2,006 千円	消耗品費、壁面緑化修繕費								
		役務費	15,820 千円	手数料								
使用料及び賃借料		730 千円	モップ賃借料									
原材料費		1,396 千円	維持補修用原材料									
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳										
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.20人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.20人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人		令和3年度	常時勤務職員※	0.20人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.20人工
		令和3年度										
	常時勤務職員※	0.20人工										
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工										
	合計	0.20人工										
19,952 千円	分担金・負担金											
	使用料・手数料											
	国庫支出金											
	県支出金											
	その他 ()											
一般財源	19,952 千円											

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	支出	行政費用 A	22,112	21,501	21,186	21,761
		(1)現金を伴う支出 (千円)	22,144	21,499	21,489	21,761
		事業費(支出済額)	19,253	18,584	19,490	19,952
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	2,891	2,915	1,999	1,809
		①常時勤務職員等の給与等	2,750	2,742	1,670	1,725
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	221	0
		③退職金相当額	141	173	108	84
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-32	2	-303	0
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	-32	2	-303	0
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		51.51 429,317	49.65 433,060	48.69 435,121	49.57 438,968	
成果実績	指標名	目標	単位	単位	単位	単位
		-	-	-	-	-
成果実績	指標名	実績	単位	単位	単位	単位
		-	-	-	-	-
上記指標名の設定ができない理由		学校施設の適正な管理運営を図る事務事業であるため、指標の設定はできない。				

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
	事業の方向性	現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	教育部	氏名	峯 浩太郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	学校施設環境整備事業費(小学校)										担当課	部課名	教育部学校施設課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	02	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	鳥生 学	電話	5121

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市立小学校35校の教育環境の向上を図るため、各種環境整備工事等を実施する。				
対象	4. その他	市立小学校			35 校
根拠法令等	法律等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条			
事業実施内容	1 空調設備賃借 2 空調設備機能復旧工事 3 その他の経費				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		309,724 千円	燃料費 手数料 空調設備賃借 空調設備機能復旧工事	
		費目	支出済額 (千円)			
		需用費	572 千円			
		役務費	275 千円			
		使用料及び賃借料	104,277 千円			
		工事請負費	204,600 千円			
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		309,724 千円	令和3年度 常時勤務職員※ 0.10人工 短時間勤務職員(再任用・任期) 0.00人工 合計 0.10人工 ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人	
		費目	支出済額 (千円)			
		分担金・負担金				
		使用料・手数料				
		国庫支出金	92,690 千円			
		県支出金				
	その他 (大規模改造事業債)	88,500 千円				
	一般財源	128,534 千円				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
		行政費用 A	135,693	314,354	133,837	310,629				
		(1)現金を伴う支出 (千円)	134,219	314,347	135,952	310,628				
		事業費(支出済額)	126,510	306,572	135,063	309,724				
		償還金利息	0	0	0	0				
		人件費合計(①+②+③)	7,709	7,775	889	904				
		①常時勤務職員等の給与等	7,334	7,313	835	863				
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0				
		③退職金相当額	375	462	54	42				
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,474	7	-2,115	0				
		①減価償却費	0	0	0	0				
		②退職給与引当金繰入額	1,474	7	-2,115	0				
		③不納欠損額	0	0	0	0				
		④その他()	0	0	0	0				
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	316.07	429,317	725.89	433,060	307.59	435,121	707.63	438,968
成果実績	指標名	目標	35	単位 校	35	単位 校	35	単位 校	35	単位 校
		実績	35	単位 校	35	単位 校	35	単位 校	35	単位 校
数値で表せない効果		学校施設の環境整備を進めることにより、教育環境の維持及び向上を図り、また児童の安心や安全の確保に寄与した。								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	教育部	氏名	峯 浩太郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	学校施設環境整備事業費(小学校)(繰越分)										担当課	部課名	教育部学校施設課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	02	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	鳥生 学	電話	5121

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市立小学校の教育環境の向上を図るため、各種環境整備工事等を実施する。 令和2年度12月及び2月補正予算で承認されたトイレ改修、空調設備更新設置及び外壁等改修工事について、全額翌年度に明許繰越し施工実施した。						
対象	4. その他	市立小学校			11 校		
根拠法令等	法律等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条					
事業実施内容	1 環境整備工事に係る修繕 2 環境整備工事に係る手数料 3 環境整備工事(トイレ改修、空調設備更新設置、外壁等改修)の実施						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額(千円)		主要内容
	729,903 千円	需用費	1,026 千円		施設修繕費、印刷製本費
		役務費	941 千円		手数料
		工事請負費	727,936 千円	トイレ改修、空調設備更新設置、外壁等改修工事	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
		費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
	729,903 千円	分担金・負担金		0.70人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金	193,643 千円	0.00人工	
		県支出金		合計	
	その他(大規模改造事業債)	519,400 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
	一般財源	16,860 千円	会計年度任用職員(配置数)		
			0.00人		

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	0	0	847,377	736,235					
		(1)現金を伴う支出(千円)	0	0	845,265	736,234					
		事業費(支出済額)			839,042	729,903					
		償還金利息			0	0					
		人件費合計(①+②+③)	0	0	6,223	6,331					
		①常時勤務職員等の給与等			5,844	6,039					
		②会計年度任用職員の報酬等			0	0					
		③退職金相当額			379	293					
		(2)現金を伴わない支出(千円)	0	0	2,112	1					
		①減価償却費			0	0					
		②退職給与引当金繰入額			2,112	1					
		③不納欠損額			0	0					
		④その他()			0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	429,317	0.00	433,060	1947.45	435,121	1677.20	438,968			
成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	11	単位	校
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	11	単位	校
	数値で表せない効果	学校施設の環境整備を進めることにより、教育環境の維持及び向上を図り、また児童の安心や安全の確保に寄与した。									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		休止・廃止・完了	
今後の方針	学校施設再整備基本方針及び学校施設再整備実施計画に基づき、補助事業の活用を図りながら、児童の安全・安心な教育環境を保つための維持・整備に取り組む。		

6. 部長確認欄

部名	教育部	氏名	峯 浩太郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	諸整備事業費(小学校)										担当課	部課名	教育部学校施設課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	02	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	鳥生 学	電話	5121

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	市立小学校施設の各種整備工事等を行う。															
対象	4. その他	市立小学校											35	校		
根拠法令等	法律等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条														
事業実施内容	1 維持補修修繕の実施 2 各種設備等調査、樹木剪定、清掃等作業手数料の執行 3 仮設校舎の賃借(11校)、校内放送設備の賃借(10校) 4 諸整備工事(給水設備改修工事、教室転用改修工事)の実施															

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳														
	支出済額	需用費	45,518 千円		施設修繕費、印刷製本費											
	209,489 千円	役員費	10,236 千円		手数料											
		使用料及び賃借料	67,880 千円		仮設校舎賃借、校内放送設備賃借											
		工事請負費	83,765 千円		給水設備改修工事、教室転用改修工事											
負担金補助及び交付金		2,090 千円		水道利用加入金												
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳														
	支出済額	分担金・負担金	46,411 千円		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)											
	209,489 千円	使用料・手数料	令和3年度													
		国庫支出金	常時勤務職員※ 0.30人工													
		県支出金	短時間勤務職員(再任用・任期) 0.00人工													
		その他 (大規模改造事業債)	合計 0.30人工													
一般財源		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く														
	152,078 千円	会計年度任用職員(配置数) 0.00人														

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	1,241,113	1,163,563	1,139,306	1,201,451		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	276,051	198,467	179,453	239,446		
		事業費(支出済額)	230,875	158,931	144,512	209,489		
		償還金利息	42,285	36,621	32,275	27,244		
		人件費合計(①+②+③)	2,891	2,915	2,666	2,713		
		①常時勤務職員等の給与等	2,750	2,742	2,504	2,588		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	141	173	162	125		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	965,062	965,096	959,853	962,004		
		①減価償却費	965,094	965,094	959,854	962,004		
		②退職給与引当金繰入額	-32	2	-1	0		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2890.90	429,317	2686.84	433,060	2618.37	435,121
成果実績	指標名	児童の安全安心が確保された学校数	35	35	35	35		
		数値で表せない効果	学校施設の諸整備を進めることにより、教育環境の維持及び向上を図り、また児童の安全や安心の確保に寄与した。					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	教育部	氏名	峯 浩太郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	学校管理運営費(中学校)										担当課	部課名	教育部学校施設課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	03	目	01	細目	002	説明	10	課等の長	鳥生 学	電話	5121

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務	
事業概要	市立中学校19校の適正な管理運営を図るための各種経費を支出する。							
対象	4. その他	市立中学校					19	校
根拠法令等	法律等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条						
事業実施内容	1 消耗品購入 2 壁面緑化整備修繕 3 施設管理にかかる手数料 4 モップ賃借料 5 維持補修用原材料							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳										
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主要内容								
	12,785 千円	需用費	1,192 千円	消耗品費、壁面緑化修繕費								
		役員費	9,936 千円	手数料								
使用料及び賃借料		652 千円	モップ賃借料									
原材料費		1,005 千円	維持補修用原材料									
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳										
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.20人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.20人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人		令和3年度	常時勤務職員※	0.20人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.20人工
		令和3年度										
	常時勤務職員※	0.20人工										
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工										
	合計	0.20人工										
12,785 千円	分担金・負担金											
	使用料・手数料											
	国庫支出金											
	県支出金											
	その他 ()											
一般財源	12,785 千円											

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	15,205	15,038	14,201	14,594		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	15,237	15,036	14,504	14,594		
		事業費(支出済額)	12,346	12,121	12,505	12,785		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	2,891	2,915	1,999	1,809		
		①常時勤務職員等の給与等	2,750	2,742	1,670	1,725		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	221	0		
		③退職金相当額	141	173	108	84		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-32	2	-303	0		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-32	2	-303	0		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他 ()	0	0	0	0		
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	35.42	429,317	34.72	433,060	32.64	435,121	33.25	438,968
成果実績	指標名	目標	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
上記指標名の設定ができない理由		学校施設の適正な管理運営を図る事務事業であるため、指標の設定はできない。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
	事業の方向性	現状維持	
	今後の方針		

6. 部長確認欄

部名	教育部	氏名	峯 浩太郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	諸整備事業費(中学校)										担当	部課名	教育部学校施設課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	03	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	鳥生 学	電話	5121

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務						
事業概要	市立中学校施設の各種整備工事等を行う。												
対象	4. その他	市立中学校										19	校
根拠法令等	法律等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条											
事業実施内容	1 維持補修修繕の実施(建築、電気、衛生、機械等) 2 各種設備等調査、樹木剪定、清掃等作業手数料の執行 3 仮設校舎の賃借(2校)、校内放送設備の賃借(7校)												

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳										
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主要内容								
	45,627 千円	需用費	34,130 千円	施設修繕費								
		役務費	2,650 千円	手数料								
		使用料及び賃借料	8,309 千円	仮設校舎賃借、校内放送設備賃借								
		負担金補助及び交付金	68 千円	公共下水道事業受益者負担金								
補償補填及び賠償金		470 千円	工事に伴う損失補償									
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳										
	支出済額	費目	支出済額(千円)	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.20人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.20人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人		令和3年度	常時勤務職員※	0.20人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.20人工
		令和3年度										
	常時勤務職員※	0.20人工										
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工										
	合計	0.20人工										
45,627 千円	分担金・負担金											
	使用料・手数料											
	国庫支出金											
	県支出金											
	その他()											
一般財源	45,627 千円											

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	741,752	801,058	735,525	707,459		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	110,142	169,414	93,349	78,550		
		事業費(支出済額)	65,409	128,674	56,807	45,627		
		償還金利息	41,842	37,825	34,764	31,114		
		人件費合計(①+②+③)	2,891	2,915	1,778	1,809		
		①常時勤務職員等の給与等	2,750	2,742	1,670	1,725		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	141	173	108	84		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	631,610	631,644	642,176	628,909		
		①減価償却費	631,642	631,642	642,479	628,909		
		②退職給与引当金繰入額	-32	2	-303	0		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	1727.75	429,317	1849.76	433,060	1690.39	435,121
成果実績	指標名	生徒の安全安心が確保された学校数	19	19	19	19		
		実績	19	19	19	19		
数値で表せない効果		学校施設の諸整備を進めることにより、教育環境の維持及び向上を図り、また生徒の安全や安心の確保に寄与した。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	教育部	氏名	峯 浩太郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	学校施設環境整備事業費(中学校)										担当課	部課名	教育部学校施設課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	03	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	鳥生 学	電話	5121

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市立中学校19校の教育環境の向上を図るため、各種環境整備工事等を実施する。				
対象	4. その他	市立中学校			19 校
根拠法令等	法律等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条			
事業実施内容	1 環境整備工事に係る修繕 2 環境整備工事に係る手数料 3 暖房機賃借 4 環境整備工事(グラウンド整備、空調設備機能復旧、外壁等改修)の実施 5 グラウンド整備事業用地購入 6 その他の経費				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額(千円)		主な内容
		需用費	910 千円		燃料費、施設修繕費
	597,049 千円	役務費	30 千円		手数料
		使用料及び賃借料	1,058 千円		暖房機賃借
	工事請負費	331,936 千円	グラウンド整備、空調設備機能復旧、外壁等改修		
	公有財産購入費	263,115 千円	グラウンド整備事業用地購入		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳			
		費目	支出済額(千円)		
	597,049 千円	分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金	100,092 千円		
		県支出金			
	その他(大規模改造事業債)	426,100 千円			
	一般財源	70,857 千円			

	令和3年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
コスト	支出	行政費用 A	6,662	134,290	11,231	597,954					
		(1)現金を伴う支出(千円)	6,684	134,288	11,533	597,953					
		事業費(支出済額)	4,757	132,344	10,644	597,049					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	1,927	1,944	889	904					
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	1,828	835	863					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	94	116	54	42					
		(2)現金を伴わない支出(千円)	-22	2	-302	0					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-22	2	-302	0					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		15.52	429,317	310.10	433,060	25.81	435,121	1362.18	438,968		
成果実績	指標名	教育環境の整備が図られた学校数	目標	19	単位	19	単位	19	単位	19	単位
			実績	19	単位	19	単位	19	単位	19	単位
		数値で表せない効果	学校施設の環境整備を進めることにより、教育環境の維持及び向上を図り、また生徒の安心や安全の確保に寄与した。								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	教育部	氏名	峯 浩太郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	学校施設環境整備事業費(中学校)(繰越分)										担当課	部課名	教育部学校施設課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	03	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	鳥生 学	電話	5121

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市立中学校の教育環境の向上を図るため、各種環境整備工事等を実施する。 令和2年度2月補正予算で承認された外壁等改修、空調設備更新設置について、全額翌年度に明許繰越し施工実施した。						
対象	4. その他	市立中学校				5	校
根拠法令等	法律等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条					
事業実施内容	1 環境整備工事に係る修繕 2 環境整備工事に係る印刷製本費 3 環境整備工事(外壁等改修工事、空調設備更新設置工事)の実施						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	483,271 千円	費目	支出済額(千円)		主な内容
		需用費	49 千円		印刷製本費
		役務費	473 千円		手数料
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	483,271 千円	費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		0.70人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金	109,526 千円	0.00人工	
		県支出金		合計	
	その他(大規模改造事業債)	364,900 千円	0.70人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
	一般財源	8,845 千円		会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度								
		行政費用 A	0	254,492	223,168	489,603								
		(1)現金を伴う支出(千円)	0	254,490	221,660	489,602								
		事業費(支出済額)		252,546	215,437	483,271								
		償還金利息		0	0	0								
		人件費合計(①+②+③)	0	1,944	6,223	6,331								
		①常時勤務職員等の給与等		1,828	5,844	6,039								
		②会計年度任用職員の報酬等		0	0	0								
		③退職金相当額		116	379	293								
		(2)現金を伴わない支出(千円)	0	2	1,508	1								
		①減価償却費		0	0	0								
		②退職給与引当金繰入額		2	1,508	1								
		③不納欠損額		0	0	0								
		④その他()		0	0	0								
		市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	429,317	587.66	433,060	512.89	435,121	1115.35	438,968				
成果実績	指標名	教育環境の整備が図られた学校数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	5	単位	5	単位	校
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	5	単位	校			
	数値で表せない効果	学校施設の環境整備を進めることにより、教育環境の維持及び向上を図り、また生徒の安心や安全の確保に寄与した。												

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		休止・廃止・完了	
今後の方針	学校施設再整備基本方針及び学校施設再整備実施計画に基づき、補助事業の活用を図りながら、生徒の安全・安心な教育環境を保つための維持・整備に取り組む。		

6. 部長確認欄

部名	教育部	氏名	峯 浩太郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	学校管理運営費(特別支援学校)										担当課	部課名	教育部学校施設課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	04	目	01	細目	002	説明	06	課等の長	鳥生 学	電話	5121

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務	
事業概要	白浜養護学校の適正な管理運営を図るための各種経費を支出する。							
対象	4. その他	市立特別支援学校					1	校
根拠法令等	法律等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第23条						
事業実施内容	1 手数料(プール清掃、図面作成、簡易専用水道検査等) 2 清掃業務委託(便所清掃、室内清掃、窓ガラス清掃、貯水槽清掃) 3 保守点検委託(自家用電気工作物保安管理、エレベーター保守等) 4 学校モップ賃借料							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳														
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主要内容												
	8,996 千円	役務費	427 千円	手数料												
		委託料	8,548 千円	清掃作業、各種保守点検												
使用料及び賃借料		21 千円	モップ賃借料													
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳														
	支出済額	費目	支出済額(千円)	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.10人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.10人工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.00人</td> </tr> </table>		令和3年度	常時勤務職員※	0.10人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.10人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
		令和3年度														
	常時勤務職員※	0.10人工														
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工														
	合計	0.10人工														
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く																
会計年度任用職員(配置数)	0.00人															
8,996 千円	分担金・負担金															
	使用料・手数料															
	国庫支出金															
	県支出金															
	その他()															
一般財源		8,996 千円														

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	10,273	10,760	9,416	9,901		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	10,295	10,758	9,718	9,900		
		事業費(支出済額)	8,368	8,814	8,608	8,996		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	1,927	1,944	1,110	904		
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	1,828	835	863		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	221	0		
		③退職金相当額	94	116	54	42		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-22	2	-302	0		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-22	2	-302	0		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他()	0	0	0	0		
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	23.93	429,317	24.85	433,060	21.64	435,121	22.55	438,968
成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位
上記指標名の設定ができない理由		学校施設の適正な管理運営を図る事務事業であるため、指標の設定はできない。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	教育部	氏名	峯 浩太郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------